

平成29年度教員免許状更新講習シラバス

講習の区分	【必修領域】全ての受講者が受講する領域		
講習の名称	【必修】教育の最新事情D(中・高・特支教諭向け)		
開設日	平成29年8月5日(土)	講習時間	6時間
主な受講対象者	全教員	受講人数	150人
講習の形態	対面授業	会場	佐賀大学:教養教育大講義室
担当講師	上野 景三、下田 芳幸、大元 誠		
講習のねらい・到達目標	講習全体を通して、国の教育政策、世界の教育動向、教員としての子ども観、教育観や子どもの発達について理解する。		
講習内容	わが国の教育政策や世界の教育の動向を踏まえ、教員としての子ども観、教育観等についての再考する。 また、子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見(特別支援教育に関するものを含む。)を紹介し、子どもの生活の変化を踏まえた課題を検討しながら、教育にどう活かすかを考える。カウンセリングマインドの必要性を考える。		
評価方法・基準	成績評価は、各講習の担当者が行う試験の成績や、講習への出席状況から総合的に判断します。評価基準は、総合点で60点以上を合格とします。		
	認定試験に関して	資料の持ち込み(不可) ※客観(選択)テストを中心とする	
講習計画/講習内容			
開始時刻等	担当講師	内容	補足
I 9:00~10:30 (90分)	上野 景三	現代の教師や学校を客観的に捉え直すために、まず歴史的な変化の中での子ども・教師・学校の置かれている状況について理解する。その上で、今日の学校の有り方を探るために国際的な状況をふまえ、家庭や地域社会との関連の中で学校の位置を確かめながら、教師の役割を再確認する。	
II 10:45~12:15 (90分)	下田 芳幸	教育相談の意義と限界、マズローの欲求階層説の観点から見た教育相談等の位置づけ、天災等における心身の反応と心のケアに関して解説する。	
12:15~13:15	昼休み		
III 13:15~14:45 (90分)	大元 誠	最近の心理学及び脳科学の成果を交えながら、子どもの発達のメカニズムを中心に述べ、発達障害の理解も含め、どのように教育を考えていけばよいのかについて考える。	
IV 15:00~16:30 (90分)	大元 誠	筆記試験 【資料の持ち込み(不可) ※客観(選択)テストを中心とする】	
持参するもの			
予習について			
受講上の注意			